

# SHITAIKYO

# 第88号 滋退教 通信

許せない安倍政権の暴走！

滋賀県退職教職員協議会会長 清水崇夫

今年も早や三か月が過ぎました。地球の異常気象は続き、人類の将来に不安を残す出来事が起っています。

さて、安倍政権の暴走は一向に収まらず、アベノミクスに翻弄されている政治経済で日本の行く末が心配されています。

その一つは、三月十一日で四年経つても東北大震災の復興はなかなか進まず、特に福島原発事故については四年前とほとんど変わらず、汚染水問題、廃炉問題、放射線高濃度廃棄物の処理場問題など何一つ解決せず、無責任な対応が続いていることです。にもかかわらず、原発の輸出と原発の再稼働を進める安倍政権を許すことはできません。

二つ目は、企業献金問題で大臣が次から次へと問題を起こしましたが、首相、文科大臣らは責任を取らず、「知らなかつた」で済ましていることです。野党の追及の甘さに呆れるばかりです。

三つ目は、集団的自衛権問題等で何でも閣議決定で推し進める政府の傲慢さです。イスラム国の人質事件、沖縄県民の意思を無視する辺野古問題等、あまりある安倍政権のおごりに対し、世論の怒りがアベノミクスによる景気を重視する政策に呑み込まれていることです。

こんな手のつけられない安倍政権の暴走にくさびを打ち込むことができる時がやってきました。それは、四月に行われる地方統一選挙です。滋退教がすすめる平和、人権、憲法を守り、民主的な社会をつくるために我々が支持する日政連議員、連合議員、チームしが議員候補の全員の当選を勝ち取ることが大切です。

滋退教会員のみなさん、現職とともに明るい未来をめざし、我々の仲間の勝利のために行動していただきたいと思います。ご協力のほどよろしくお願ひします。

発行所：大津市梅林1-4-15  
滋賀県退職教職員協議会  
TEL: 077-523-1706  
FAX: 077-525-1885  
木 ム ペ ジ  
[www.geocities.co.jp/HeartLand-Poplar/7201](http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Poplar/7201)  
発行責任者：清水 崇夫

人に冷たい安倍政権

滋賀県教職員組合 川瀬美智子

先日ニュースで、関西にもブラックバイトユニオンが立ち上がったと報じられていた。

「恵方巻きやバレンタイン商品の買い取りを命じられる」、「シフトの前後の準備や残業の賃金が支払われていない」、「テスト前に休みたくても休ませてもらえない」・「ブラックバイトユニオンが実施している相談ホットラインにかかるってきた内容だ。

塾のアルバイト講師を「辞めたい」と言つたら、損害賠償五〇万円を請求されたというのもある。ブラック企業と言われるようになって久しいが、アルバイトの世界にもブラックが蔓延してきた。

この春、政府は、労働者保護ルールの緩和を行おうとしている。そのいくつかある中でも、労働者派遣法は、労働側からは、「生涯派遣法」と呼ばれている。派遣労働は、一定期間以上、同じ職場で働いたら、派遣会社からの派遣でなく、勤め先の会社が直接雇うと申し入れなければならなかつた。これで、歯止めをかけてきた。

今回の「派遣法」は、派遣社員を三年ごとに別の派遣社員に取り換えていきさえすれば、ずっと派遣に仕事をやってもらつてもいい仕組みにきりかえるもの。派遣労働からの脱出が難しくなるだけでなく、ずっと派遣社員にやつてもらえばいいという仕事が増えれば、正規社員の仕事も減るので、「正社員不要化法案」と言われている。安倍政権がめざす「世界で一番企業が活動しやすい国」づくりは、人を切り捨てにする政策以外の何ものでもない。

山河恋うて國を恐るる余寒かな

モーレンカンプふゆー<sup>まつりごと</sup>  
(オランダ)

陽炎や夜郎自大な政

渡辺 隆(川越)

3. 9 朝日歌壇より



# じやなる！ 国の行く末

憲法が・教育が・高齢者が

集団的自衛権、戦争の足音が！



東北大震災を風化させない！

池田さん・橋さんのお話をお聞きして

湖一・一二支部 湯口昭子

- ★ 一内閣独断専行、違憲の集団的自衛権、許せぬこの暴挙
- ★ 声を挙げ続けようアベに戦争まで委任した覚えはない！
- ★ アベ政治、戦前の風潮に接近していると、高齢者の声高し
- ★ 山河破れて国家あり？なぜ急ぐ危険な舵とり絶望的！
- ★ 村山談話を継承せよ！「未来志向」のまやかしに反論を

## 統一選挙で庶民の意思を

- ★ 国民も目覚め考えよう、戦争できる国で本当によいのか！
- ★ 「戦争をさせない1000人委員会」、地道な活動が拡がる
- ★ もたつくな民主、存在見えないぞ！もつと吠え続けよ！
- ★ おげる自民へ一撃、圧力に負けない滋賀の良識を示そう
- ★ 女性議員率世界で113/190、女性に關しては超後進国！

## アベノミクスの正体

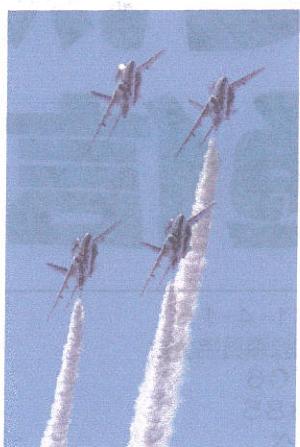
- ★ 激円安の泥沼、株高は海外投資家と国内の金持ちへ
- ★ GDP大低下、アベノリスクで格差社会進み貧乏急増！
- ★ 全世界も富が大偏重、1%の富豪99%の民超える！
- ★ ピケティ言う、日本富裕層、資産残す世襲資本主義へ
- ★ 臨時雇2000万人正規は増えず時給も殆ど変らず！

## 子どもらがのびやかに

- ★ 新学期は希望の季節、健やかに育つていける環境願う
- ★ 新自由主義教育、国家主義・自己責任へ、勝ち組本位へ
- ★ 教育への統制強まるが、現場からの強い反論聞こえず？
- ★ 云えぬより物いわぬ教師がより深刻。戦前もそうだった
- ★ 戦争する国づくりは孫の死への道、断固許さない！

## 今冬異変続き、春からは？

- ★ 今冬は予想に反し、大雪、猛吹雪、突風と異変続き！
- ★ スポーツが世の停滞感払拭。錦織、男女ジャンプ万歳！
- ★ 認知症急増、今に患者700万人とか、覚悟と対応を
- ★ 阪神・20年、東日本・4年、時間過ぎても傷は深い！

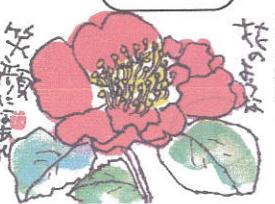


2.14開催

鼎談の司会は森真次郎さん

「真実を隠しているからじゃないのか？」と最近感じることが増えた。偽りの言葉は決して心に響かないからだ。本当はもつと本質的な話をされたのに、除染で土建屋さんがうまく儲けているだけで全然効果がないとか、放射能はそんなに怖くないんだという空気が強くなっているとか、子どもの甲状腺異常が公表されないと、帰還準備地域の不可思議な扱いとか・・・さまつなことばかりが思い出される。

なにか自分のできることをやらねばならない。多くはできないが、私は「原発再稼働を止める運動」に参加することで、大きな権力と金の力に対してもんこ一匹の抵抗をしている。それから、やれたらいいなあと胸の中で温めていることが二つある。一つは、滋退教の仲間で福島応援ツアーやくこと。もう一つは福島の子どもの保養の受け入れをすること。子どもは大人以上に放射能の被害を受けているが、短期間でも放射能のない地でのびのび過ごすと、被爆量を減らすのに効果があるとチエルノブイリで検証されているからだ。



## 会員あけくれ

雑感 はがきを書きながら

湖北支部 勝木 允



県議選出馬の候補者の支援としてハガキの宛名書きをしながら思ったことを二つ三つ。

一つは住所である。同じ市内であるのにかなり多くの地名の読み方や所在地等が全くわからない。平成の大合併に因るものだが、同じ市内に住んでいながら腑に落ちないこと大である。地図を開こうと思つても大量の宛名を熟さなければならず、それどころではない。

次は宛名に関わつてである。興味をそそる名前がいくつかあつた。難読の名前は時間を気にしながら一応辞書を引いてみるが、個々の意味は分かつても全体が分からなかつた。（読みが分からなくても書けばいいのだが）「美」が使われている名は男女ともあり、性別を想像するなどという余計なことをすると字を間違えてしまつたりした。また、女性の名で三文字の中が仮名二文字と漢字一文字になつている場合、変体仮名が元の漢字に戻されていると判断し、この人は高齢者だと勝手に決めつけ更に昔は若くてきれいな人だつたろうなと推測するト、宛名書きも楽しくなつてくる。漢字自体やその組み合わせで年齢や容姿を想像してにんまりすることもあつた。（道草をくうことになるが）

親御さんはきっと我が子の健やかな成長を願つて命名されたのであるから、人は年をとつても名前には親御さんの思いがいつまでも籠り続いているに違いないと思う。このことは忘れないようにしたい。

もう一つは書くときに困つたこと。名簿を見て書くわけであるが、類似した字（例「崎」と「嶠」「治」と「冶」など）はその都度天眼鏡で見て確認し、人様の名前を間違えないように回らぬ頭を苦労して取り組んだこと。しかし、なんとか期日までに仕上げることができた。

タクロウも楽し



湖二支部 水波 基

「タクロウ」と私たちが呼んでいる集まりがある。

「託老」と書けばご理解いただけると思いますが、老齢年金で細々と生きている集団です。女性が多数で男性が少数派なのも自然のなりゆきです。「平田町ふれあいのやかた」といかめしい名前ですが、週一回、会費千円でボランティアの援助のもと、手芸、園芸、歌、生活談義、クイズ、ゲーム、見学、季節の自主行事など盛りだくさんで時間を忘れるほどです。昼食は年寄り向けの消化のよいもの、三時には「おやつ」をいただき、別れるのが惜しいくらいで次回が楽しみです。

クイズ等はボランティアや会員がさがしてくれたものを全員がワイワイ言いながら答え合わせをします。私も材料さがしに力を入れています。

古稀にして、やつと筋金入りの人間になつた。昨年の十二月初めの夕暮れ時、帰宅歩行中に無灯で自転車疾走した。幸いにも頭を打たない転び方がとつさにできて、命を歩いてきた成果かもしれない。周りから「歩き病にかかりていてる」と言われてきたが、足腰のバネのおかげで大丈夫にいたらなかつたようにも思える。

左肘が砕けてしまつたので、十センチ余りのボルト二本入りの手術と鎖骨骨折の処置をしてもらつた。生まれて初めて二週間の入院生活は、ゆっくりできて実に快適な毎日だつた。「今日は何をしようかな」と思えるゆとり生活は、現役時代には全くなかったからである。手術後三ヶ月がたち、今は週二回の通院リハビリに励み、腕の曲げ伸ばしに専念している。リハビリは激痛が伴い、病院へ行くのがおつとうな日がたくさんあつた。でも医師から「超回復力スゴイ」とほめられ・おだてられ、気持ちを取り戻しながら何とか続けることができた。いくつになつても、ほめられるとうれしく元気が出るものである。足と口はよく動くので、入院中も外泊許可を得て、もうひとつのお話やさんの仕事（人権・同和問題解決の話題提供）を続けた。

妻が「病院への送り迎えを車で」と度々言つてくれたが、一度も頼むことはしなかつた。駅から病院までの往復の道を歩きながら、腕の曲げ伸ばしや肩の上下動、肩まわしなどする方が呼吸もマッチして効果があるよう思えたからである。決して強がりではなく、腕を上げると回る鎖骨の矯正にもよいと感じたからである。

でも、今回の災難でもう一つの課題が私にはあつたのである。（次号に続きます）

自費出版の本を出しました

湖西支部 石居九美

十年ほど前、家に眠つていた小説の原稿四〇〇枚を本にしました。「奇跡を拾つて歩いてきた」という作品で従軍慰安婦、八重さんがヒロインの物語です。書いたのは私の父山田哲二郎です。父は昭和一六年から戦争にとられ、満州、中支、ビルマ。終戦はインドネシアでした。何度も死の瀬戸際に直面し命拾いして還つてきた父は二度と戦争は起こしてはならないとの思いで従軍慰安婦を告発する小説を書きました。

それが「奇跡を拾つて歩いてきた」です。

戦争や慰安婦問題の本質、そして父の戦争体験を一人でも多くの人に知つてもらいたくて全国書店配本にしてもらいました。父が自分の目で見たこと、耳に聞こえてきたことが描かれていて歴史の資料にもなるかと思ひます。

人権運動の一環になることを願い、アツトワーカス社から発行しました。ネット販売もしています。一五〇〇円です。ぜひ読んでいただきたいです。

皆が生活の場でーーの声をあげましょう!



1月26日教育会館で開催しました

滋教組・滋退教新春懇談会



東北大震災・原発事故から四年目を迎えた3・8集会



1. 24 私たちの共育再生集会  
大学生や母親がパネリストで参加

6



恒例2. 11の集会: 講師は白井 聰さん



4

下村 いさおさん(守山; 県)



教育に愛を  
まちに福祉を  
地域に平和を  
みんなに元気を  
下村 いさおは めざします

5

統一地方選挙で必勝をめざす日政連議員の皆さん

草川 ただしさん(大津; 市)



県議会投票日 4月12日

草川 ただしは めざします

子どもとともに  
未来をともに  
みんなが笑顔になれるよう

大橋 みちのぶさん(長浜; 県)



市議会投票日 4月26日

大橋 みちのぶは めざします

今に責任!  
未来に責任!  
もっと湖北! ずっと滋賀!  
夢あるあしたへ



これらは氷山の一角、ますます広がっていくでしょう。「市民」の抗議を受け、あるいは受ける前に、こういう動きをするのです。「国」が命令する前に、「国」の意向をくんで、自治体も教育委員会も自らの意志で、こういう動きをするのです。「国」は、何も強制しなかつた、と言うでしよう。私たちの身のまわりにひたひたと押し寄せる歴史修正の波。私たちのまわりを取り囲む透明な「自粛」の壁。無知は一時の恥だけれど、無関心は罪だと言いました。沈黙もまた罪になるでしょう。しっかりと目をひらき、小さな声でもあげていく勇気を持ちたいと思います。

(青木理 「抵抗の拠点から」)

## 6月までの予定

甲賀支部総会 4月13日(月)  
いのち・くらし・憲法集会  
5月2日(土)  
退女教全国総会(福島)  
5月12~13日(火~水)  
日退教総会(東京) 6月9日(火)  
滋退教総会(ラフォーレ琵琶湖)  
6月27日(土)

十二月の幹事会で、奈良退教からあずかった署名をしました。天理市にあった旧海軍の柳本飛行場についての説明板再設置を求める署名です。

一九九五年天理市と天理市教育委員会は、飛行場についての説明板を設置しました。そこには建設のために連行された朝鮮人労働者、慰安所の朝鮮人女性についても記されていました。それを、同じ市と教育委員会が、突然説明もなしに撤去したそうです。二〇一四年四月のことです。その再設置を求めたのです。

各地でこのような動きがあると聞きます。

・松代大本営跡地の案内板では、朝鮮人労働者について「強制的」の文字がテープで抹消された。

・長崎の平和公園内に韓国人原爆犠牲者の慰靈碑をつくる計画に「市民」の抗議が殺到し、工事が宙に浮いている。

・群馬では県立公園内にある徵用された朝鮮人の追悼碑を撤去すると、県が宣告した。

## リアルタイム

### 編集後記にかえて

## 第60回滋賀県勤労者美術展から滋退教会員の作品



ここなら安心 (写真)  
清水崇夫さん (湖西)



魂 (書) 木下芳子さん (湖南)



風 (書)  
大隅富子さん (湖南)



雪の日に (写真)  
高野常隆さん (湖西)